

今、世界で労働者・学生の闘いが熱い！

東京—ソウル共同行動報告！



写真上：11月3日、11・3集会に3000人。全世界の闘う労働者も参加した
写真左：11・9韓国労働者集会に、非正規労働者を中心に10万人！

広島大学学生自治会

Twitter : @ hu_jichi

mail:hiro dai86@yahoo.co.jp

HP:http://hiro dai86.blog.shinobi.jp/

広大生のみなさん。全世界で新自由主義と圧政に対して労働者・学生が立ち上がっています。この社会を具体的に変えるのは、学生・労働者の力です。広島大学学生自治会もこの11・3－11・9集会に参加してきました。学生も労働者と共に声を上げよう！

◆ 11 月集会に 3900 人が結集

11月3日、全国労働者総決起集会が東京・日比谷野音で行われました。この集会は、22年前から日本の闘う労働者が集まり、民営化による非正規職化、大失業と闘うことを軸にして始まった集会です。

そして今、あらゆるものを金儲けにする新自由主義社会に対して、労働者、学生のみならず、改憲阻止、反原発運動、過労死遺族の会や辺野古新吉建設に反対する沖縄、市民団体などの闘う結集軸になっています。

今回は大注目になっているコンビニ関連ユニオンも登場し、セブンイレブンの労働者が「元旦那くらい休ませろ！」と「元旦スト」を宣言しました。今や、コンビニに対する24時間営業の強制や本社によるオーナー無視の違法発注がテレビや新聞で大問題になっています。

このコンビニ労働者のように労働者の怒りは限界点に来ています。今こそ団結が必要です。

◆ 全世界でも課題は同じ！

また、この集会には韓国民主労総やドイツ機関士労組などの闘う労働者が全国から集まっています。

全世界でも労働者や社会の課題は同じです。非正規職化や解雇、長時間によって生きていけない状況が強制されています。

この現状を変える力は政府や企業にありません。あらゆるものを金儲けにして、社会の維持に責任をとらないばかりか、米中や中東における軍事的緊張と戦争をつくりだそうとしています。

こうした現実に対して、社会を動かし、管理してる労働者が「生きさせろ」と社会の全面に登場しているのです。

◆ 韓国 11・9 集会に 10 万人

そして、今最も激しく労働運動が闘われているのが韓国です。

今回の11・9韓国労働者集会は、「2000万労働者の労働基本権を踏みにじろうとするなら、即刻かつ全面的なゼネストで反撃する」と宣言し、労働者の力で社会を変えるとアピールしたものです。実際、韓国の非正規職は労働組合の実力闘争で正規職をかちとり始めています。

NGO オックスファムによる 世界経済格差 2019 年板統計

- 1%の超富裕層の資産は残り99%より多い
- トップ26人が半数の38億人の資産と同額
- 新たに生まれる富の8割は超富裕層に、世界の経済的貧困である半数には1%未満

また、11・3労働者集会と11・9韓国労働者大会は東京－ソウルを結ぶ共同行動として日韓の労働者が共同で主催し、安倍政権の排外主義を乗り越えて成功しました。

労働者の戦争協力なくして戦争はできません。朝鮮の軍事的危機の中で、実際に戦争を止める力を持っているのは、労働者だけです。戦争を止める力をもった国際連帯集会としても大成功しています。

◆ 社会を変える力は学生にある！

今こそ、広大生はおかしいことには声を上げ、行動しようと訴えます。

全世界や社会の問題は、どんなにかけ離れているように見えても、私たちの生きる社会と大学と直結しています。安倍政権により、大学と教育はますます金儲けに利用され始めています。英語の民間試験導入問題や国語、数学の記述式導入は結局、受験生の人生を顧みず、ベネッセや教育産業を儲けさせるために進められています。

同時に、大学の商業化は学生管理と一体で進んでいます。学生よりも企業の利益を優先する大学。教育や学生がこれほどなめられていることはありません。

大学を学生の元に取り戻すことは、労働者や民衆のためにもますます必要になっています。

一方的な自転車規制反対！サークル・部活の活動を規制するビラ貼り・立て看板規制に反対しよう。広大生は労働者と共に声をあげ、行動しよう。京大生に続き、全国学生と共に闘おう。



逃亡条例を撤回させ、5大要求を掲げる香港の学生・青年